

# 北海道自家用新聞

北海道自家用自動車協会連合会  
編集兼発行人 辻 澤 英 隆  
札幌市東区北三〇東一(郵便番号 060-0000)  
電話 (011) 721-4578

## 「飲酒運転根絶の日」決起大会行われる

### 夏の交通安全運動期間中

#### 交通安全対策七者連絡会議主催

7月13日(22日)まで「令和4年夏の交通安全運動」が行われた。運動期間中は、行政や自動車関係団体、民間企業が連携を強化しながら、ドライバーに交通ルールの順守を注意喚起した。同運動のスタートを前に開催された合同出動式では、道警とネクスコ東日本が安全運転を呼び掛けたほか、7月13日の「飲酒運転根絶の日」には札幌市で決起大会が開かれ、飲酒運転ゼロへの思いを新たにした。

7月12日にネクスコ東日本北海道支社で行われた出動式には、道警やネクスコ東日本が参加。冒頭、ネクスコ東日本北海道支社の渡邊敏史副支社長は「ネクスコ東日本グループの大きな目標の一つは24時間365日、いつでも安心して快適な高速道路サービスを提供すること。利用されたお客さまが無事故で楽しい思い出をつくってほしい」と述べた。続いて、道警高速道路交通安全警察隊の吉成真吾副隊長は「この運動を通して、交通安全意識を高めてもらい、交通事故防止に努めてほしい」と強調した。

その後、「清豊学園認定こども園おやち」の園児らに見送られながら、パトカー8台、白バイ2台、ネクスコ東日本のパトロールカー1台が巡回をスタートした。

また、7月13日の「令和4年飲酒運転根絶の日」決起大会は札幌市内で開かれ、約500人が出席した。道など交通安全対策七者連絡会議が主催で、専門家による基調講演、飲酒運転根絶に関する活動報告のほか、地元高校生による演劇などの新コンテンツなどで飲酒運転根絶の日にちなんだメッセージを発信した。

黙祷のあと、主催者代表の挨拶で鈴木直道北海道知事は「『飲酒運転根絶の日』を広く道民に周知させるとともに北海道から飲酒運転をなくしていくという強い思いを共有することの意識、飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さないという強い気持ちを共有したい」と挨拶。

次に扇沢昭宏北海道警察本部長が「8年前の小樽銭函における悲惨な死亡交通事故を機に、条例として飲酒運転根絶の日ができ、その検挙数は減少傾向にあるが皆無ではなく、ゼロを目指して取り組みを強化したい」と話した。

医療法人恵仁会空知病院医療談室長内崇氏が「飲酒運転根絶に関する活動紹介及び作品」を紹介。札幌市の手高校演劇部による演劇上映会「飲酒運転根絶演劇」失われた未来」が行われ、生徒による飲酒運転根絶道民宣言で締めくくった。

道内における1〜5月の交通事故発生件数は前年同期比4・0%増の3402件だった。5月単月では前年同月比33・3%増の63件と2桁の増加。その背景には、交通ルールに不慣れた小学校入学直後の児童による事故に加えて、新型コロナウイルス感染症縮小に伴う行動規制緩和による人流の活発化などがあるようだ。

同運動では、重点項目に飲酒運転の根絶をはじめ、スピードダウンと全席シートベルト着用や子どもと高齢者の交通事故防止などを掲げ、安全で安心な交通社会の実現に一層力を入れる。

道内でも地球温暖化は着実に進行している。道内7地区(札幌、旭川、網走、根室、帯広、寿都、函館)を平均した年間気温はこの10年で1・63度上昇し、このまま推移すると今世紀末には20世紀末と比べて平均気温がおよそ5・0度上昇すると予測されている。平均気温が上昇することで大雨の頻度が増え、災害の増加、農畜産物の品質低下など生活や産業に大きな影響があるとみられている。

地球温暖化対策として自動車分野で最も大きな推進力となっているのが次世代自動車の普及促進。身近な存在となったハイブリッド車(HV)を筆頭にクリーンディーゼル車、天然ガス車(NGV)、EV、PHEV、FCVは、ユーザーが使用環境とそれぞれの特性を照らし合わせてチョイスされている。軽自動車のEVが復活し、選択肢がより充実した。

EVやFCVの普及にはインフラ整備が欠かせない。EV用の充電設備は、カーディーラーほか、高速道路のサービスエリア、道の駅、ホテルなど宿泊施設などいたるところで目にするようになった。ただし本格的なEV普及には、さらに多くの充電設備を用意する必要があるだろう。

FCVの水素ステーションについては今年、大きな進展があった。これまで道内の水素ステーションは、札幌と室蘭の移動式のみだったが、4月から鹿追町の「しかおい水素ファームステーション」が道内初の定置式で本稼働をスタートした。

鹿追町の水素ステーションは、家畜のふん尿から水素を製造して供給する国内で唯一のスタイル。環境省の「家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業」を取り組んでいる。テールライトなどのPMMA部品を使用済み車から回収し、樹脂原料として再生するもの。今年度は再生原料でテールライトをメーカーに製造してもらい、品質確認を行い、次年度以降の実装を目指したいと考えた。

道警とネクスコ東日本による合同出動式



北海道 飲酒運転根絶のために

心当たりありませんか?

1日ビール500mlを2回以上飲んでいませんか?  
お酒を飲まないで運転はありますか?  
酔っ払って運転はありますか?  
飲酒運転は、お酒と一緒に飲んでいませんか?

こうした飲み方を続けると、あなたの健康に何らかの影響を与え、**アルコール健康障害になるかも**

飲酒運転の危険性が  
「アルコール健康障害」には、飲酒運転等の重大な社会問題を生じさせる危険性があります。

人生の崩壊・・・  
飲酒運転をしてしまった場合、懲役又は罰金のほか、失職等、社会的地位を失い、自分の人生のみならず、多くの方の人生を崩壊させます。

そうなる前に  
保健所に相談を!

飲酒運転によって人生を台無しにする前に、早期に「アルコール健康障害」に処置することが重要です。  
道では、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」により、アルコール健康障害に関する「相談支援」や、飲酒運転をした方に対する「保健指導」を実施しています。

## 現場探信

あらゆるモノの値上げが相次いでいる。さらに国税庁が発表した1月1日時点の路線価では、北海道の標準宅地の平均が前年と比べて4・0%上昇し、都道府県別で1位になった。建築資材も高騰し、とくに札幌圏の不動産価格は、ひと昔前と比べて大幅に高くなった。

生活コストの上昇は、新車販売にも影響を及ぼす可能性が小さくない。とくにこれからマイホームを手に入れようとしている若年ファミリーにとっては、ランニングコストを少しでも切り詰めたいためと考えるのが、自然の流れ。一部の国内自動車メーカーは車両価格の値上げを決めた。生活に自動車がかかせない北海道だが、影響はいかほどか。

鹿追町の「しかおい水素ファームステーション」の水素製造装置



鹿追町は水素ステーションの供用開始に伴い、町の公用車として東京オリンピックで使用されたFCV「ミライ」を10台導入。同時にJA(農協)や金融機関など町内の民間法人も「ミライ」を9台購入した。

しかおい水素ファームは、定置式水素ステーションでのFCVや燃料電池フォークリフトに水素充填販売を行うほか、水素を高压容器で運搬して近郊施設の燃料電池への供給、工場に産業用水素として販売することを予定している。販売エリアは十勝地域を中心とする道内で、水素の地産地消を推進する。

一方、自動車リサイクル分野では循環資源の高度化が進んできた。北海道自動車処理協同組合がホンダ、三菱、日産と共に取り組んでいる「ポリメチルメタクリレート(PMMA)」樹脂の再資源化実証実験に取り組んでいる。テールライトなどのPMMA部品を使用済み車から回収し、樹脂原料として再生するもの。今年度は再生原料でテールライトをメーカーに製造してもらい、品質確認を行い、次年度以降の実装を目指したいと考えた。

「制作協力 日刊自動車新聞」



デジタル庁

デジタル交通社会推進戦略

今夏とりまとめ

デジタル庁は、モビリティにおけるデジタル基盤の活用を目指す「デジタル交通社会推進戦略（仮称）」を今夏にも取りまとめる。利用者のニーズを反映したMaas（サービースとしてのモビリティ）の導入に向け、携帯電話のビッグデータを必要の把握に用いることなどを検討するほか、導入の成果を測る指標として「ウェルビーイング（幸福な状態）」指標導入の可能性も探っていく。デジタルを用いてモビリティ社会の最適化を目指す。

内閣府が毎年まとめてきた「官民ITS構想・ロードマップ」を、デジタル庁がデジタル交通社会推進戦略として今夏に新たに取りまとめる。新戦略では「需要サイドから本



茨城県境町の自動運転バス

需要者目線のMaasの導入に向けては、国内外の成功事例を参考にしている。例えば、携帯電話のビッグデータを用いて利用者目線のニーズをサービスに取り入れるほか、高齢者や子育て世代などMaasのコアユーザーの試乗機会を設け、事業内容に反映させていくことも検討する。

また、Maas事業の評価指標として、人の幸福度を指数化するウェルビーイング指標を用いることも検討する。同指標は、岸田文雄首相が

この人に聞く

公益財団法人  
交通遺児育英会

石橋 健一理事長



交通遺児育英会（菅谷定彦会長）は、交通遺児の奨学金の支援と交通安全運動に取り組んでいる。北海道での「飲酒運転根絶の日」決起大会出席に合せて来札した、交通遺児育英会の石橋健一理事長に「写真」に現状や今後の取り組みについて話を聞いた。

「交通死亡事故の近況について」

「昨今、交通死亡事故は社会インフラの整備、自動車安全対策の

「奈良や福岡など色々な取り組みがあるが、北海道では高校生の演劇があり、または医療相談の場からアルコールに関する知識の説明する機会を設けるなど、皆さんに交通安全の意識浸透するのを考えながら、新鮮なアプローチが印象に残った」

この人に聞く

公益財団法人  
交通遺児育英会

石橋 健一理事長

交通遺児育英会の取り組みについて

「交通事故により、保護者がなくなるあるいは重度の後遺障害を負うことで、経済的に修学が困難になった子どもたちへの学費貸与など修学、生活支援を行っている。設立以来、高校生への奨学金数の31・3%を占めている。重傷者数も自転車乗車中が6589人と、全体の24・4%を占め、自動車乗車中の重傷者数6717人に迫る勢いで増えている」

「北海道の「飲酒運転根絶の日」決起大会に出席した感想を

「こうした交通事故で修学が困難になった子どもたちへの学費貸与など修学・生活支援の支援強化を図りたい。これまで貸与が主流で無利子とはいえ20年かけて返還しなければならぬため、負担は少なくない。交通遺児の方への返還負担軽減、あるいは給付の額を増やすことの充実に力を入れたい」

水素エンジン着実に進化

レース参戦通じ課題克服

トヨタ

トヨタ自動車はレース参戦を通じて開発を進める水素エンジンが着実な進化を遂げている。水素エンジンを搭載した「GRカローラ」は、7月に宮城県村田町のスポーツランドSUGOで開かれたスーパー耐久シリーズ第3戦に参戦。6月初旬に開催された第2戦時に比べ、水素エンジンの技術的課題の一つとなっていたブレイクニッション（早期着火）を5分の1程度に抑え込むことに成功した。水素エンジンをめぐっては、燃料を現在の気体から体積密度が高い液体水素とすることへの挑戦や、いすゞ自動車などと共同で大型商用車向けの基礎研究を進めており、実用化に向けた開発範囲も広がりをみせている。

トヨタは2021年5月から、開発中の車両でエントリーが可能ならスーパー耐久の「ST-1Qクラス」に水素エンジンを搭載したカローラで参戦している。開発中の車両であえてレースに参戦するのは、水素エンジンの課題を過酷なレース競技で洗い出し、次のレースまでに解決することを繰り返すことで、開発スピードを速める狙いがある。

1年以上レースに参戦し、改善を重ねてきた水素エンジンだが、モータースポーツ担当役員は佐藤恒治執行役員は市販化に向けては「富士登山に例える」と4合目と前回戦の段階で述べている。エンジン燃焼や燃費、排気開発にめどをつけ、5合目以降の課題として機能信頼性、さらにタンクの小型化などを挙げている。タンクの小型化については、すでに車載用液体水素システムを開発済み。現在は燃料電池車（FCV）「ミライ」の高圧タンクを利用することが、液体水素システムを搭載することで航続距離を延ばすことができる。

前回のレースでは、前走車の直後を走ることで気圧が下がる「スリッパストリーム」状態などで想定できていなかった異常燃焼も発生していた。こうした課題に対し、第3戦までのベンチテストでは、エンジン燃



水素エンジンを搭載した「GRカローラ」

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠責共済

全道に安心のサービス拠点

1事故1担当者制

1つの事故に対して1人の専任担当者が担当

充実のロードサービス

24時間365日対応・等級に影響なし

安心の事故対応力

事故解決の専門家が素早く対応

あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

北海道自動車共済協同組合

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

011-721-5233

電話の受付時間 平日9:00~17:15

FAX:011-721-0801

https://www.hokujikyo.jp

新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

小松自動車工業株式会社

札幌営業所

及工場

札幌市東区北30条東1丁目1-1

〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社

及工場

東京都品川区東品川4丁目8番12号

〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)



## 介護制度のご案内

交通事故により重度の後遺障害（脳損・脊損）を負い介護を要する方へ、国の資金により介護料を支給致します。

- ☆ 対象者
- 自動車（バイク含む）事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方（自損・他損は問いません）
- ☆ 支給額
- 月額 36,500円～211,530円の範囲で、障害の程度等に応じて支給
- ☆ 注意
- 介護保険サービス、労災の介護給付等との併用はできません

《詳しくは》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階  
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスバ」で検索  
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。  
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

近藤会長



蝦名釧路市長



自動車会館落成祝賀会が令和4年6月11日（土）に釧路プリンスホテルで行われた。当初、多数の関係者を招待し盛大な式典を執り行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、出席者は関連団体関係者と工事関係者のみとなる約50名。自動車会館の新たな歩みに期待を込め、完成を祝った。

はじめに、一般社団法人釧根自動車協会の近藤伸也会長があいさつし、関係者への感謝と今後の決意を述べた。続いて、来賓を代表して釧路市の蝦名大也市長が祝辞を贈った。また、設計管理の株式会社コアプランニングの中屋敷憲志代表取締役

### 釧根自動車協会

## 『自動車会館』落成祝賀会開催

# 釧路



## 自動車会館落成祝賀会



感謝状を贈呈

と施工を担当したタカオ工業株式会社の池田優代表取締役、近藤会長が感謝状を贈呈。その後、釧根自動車協会の濱屋俊明副会長が乾杯の音頭をとり、祝宴へと移行した。

祝賀会は終始和やかな雰囲気で行われ、最後に釧根自動車協会の藤村次男副会長のあいさつと一丁締めで閉会。業界のさらなる発展を願った。

## 釧路運輸支局 街頭検査を実施

北海道運輸局釧路運輸支局は、6月8日（水）の13時20分から13時40分の20分間と、6月21日（火）の13時20分から14時20分の1時間、国道38号線沿いの釧路運輸支局自動車検査場において、「不正改造車排除運動強化月間」及び「自動車整備推進運動」の一環として恒例の街頭検査を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、感染予防に十分配慮して街頭検査を行った。

この街頭検査は釧路警察署の応援を得て、釧路運輸支局の担当職員をはじめ釧路地方自動車整備振興会、日本自動車販売協会連合会釧路支部、釧根地区トラック協会、釧根地区ハイヤー協会、釧根自動車協会、各自動車整備工場の検査員などの関係団体職員の約40名のスタッフが協力し、車両の検査が実施された。

## アンテナ

会社近くの食堂に、「福神漬けのトッピングを終了しました」との案内が貼り出された。定期的に通っているため、最近決断したことで間違いない。おそらくは、物価高による食材費などの高騰を吸収する苦肉の策だろう。好みが分かれる福神漬けではあるが、廃止されて初めてその重要度に気付く来店客もいるはずだ。

無くてはならない存在は、カレーのトッピングだけではない。7月に発生した大規模な通信障害も、通信の重要性を今一度認識させられる事件だった。今やスマートフォンは無くてはならない存在だ。かつて主力だった「携帯」電話の文字のごとく、主のそばを離れることなく行動をサポートしてくれる。筆者はというと、深夜の通信障

害の発生と、ドライブに出発するタイミングが重なった。スマホナビのアプリとラジオアプリを起動し走り始めたものの、動作が思うようにいかず、ややストレスを感じた。結局、ネットニュースで通信障害を知ることになったのは、遅めの朝食を食べる頃だ。ポケット地図を駆使し、それもまた不便なりの楽しさを実感する休日だった。

自動車業界ではCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）の技術開発に注力している。しかし、CASEの実現は通信ありき。突然サービスが止ってしまふ事態は、なかなか想像できない。運転技術や地図の読解力など、有事に備えておく必要がある。かもしれない。



可搬式ナンバー自動読取装置

国道38号線を走行する自動車など8日（水）の13時20分から13時40分の20分間と、6月21日（火）の13時20分から14時20分の1時間、国道38号線沿いの釧路運輸支局自動車検査場において、「不正改造車排除運動強化月間」及び「自動車整備推進運動」の一環として恒例の街頭検査を実施した。

システムとなっている。いまだ警告を受ける車両が後を絶たないのは非常に残念なことであり、今後も運動を強化していく。

《実施結果》（台数）  
①検査車両数 62台  
②整備不良車両数 3台  
③無車検車両（うち整備命令台数） 0台  
《主な不適合箇所》  
①番号灯不点灯 3台

ハイヤー・タクシーでの忘れ物・お問い合わせは

☎ 0154-51-2173

釧根地区ハイヤー協会

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号(自動車会館3階)

釧路ハイヤー協同組合発行

便利なタクシーチケット

お支払いはスムーズ!

お問い合わせは ☎ 0154-52-1331

釧路ハイヤー協同組合

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号(自動車会館3階)

## 運転適性診断をご利用ください ～ 事故防止のために ～

自動車事故を防ぐには、まず運転に繋がるくせを知ることが大切です。そのために、ぜひ「適性診断」をご利用ください。カウンセリングやアドバイスを行うものも用意しております。

### 診断の種類等

- ◆ 一般診断（診断のみ） : 2,400円 …… 所要時間 約60分
  - ◆ カウンセリング付き一般診断 : 4,800円 …… 所要時間 約90分
- ★ 1日4回実施しており、予約制となっております。

《詳しくは》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階  
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスバ」で検索  
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。  
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。



# 「高齢者等の交通事故防止の取組に関する協定」締結

## 道警 釧路方面本部 釧路自動車販売協会・釧路軽自動車協会

北海道警察釧路方面本部（磯丈男 本部長）と釧路自動車販売店協会（坂根篤会長）、釧路軽自動車協会（青木健次会長）は、6月23日に「高齢者等の交通事故防止の取組に関する協定」を締結した。高齢者交通事故防止について自動車販売店組織と警察が協定を結ぶのは道内初



協定締結式は釧路市内のホテルで実施。坂根会長、青木会長、磯本部長ほか、立会人として釧路地区新車ディーラー各社の代表者らも出席した。協定書を交わした後、磯本部長は「交通事故死者数の半数以上が高齢者。サポカーは特に高齢者の交通事故防止対策として非常に効果的であり、協定が広大な釧路地域の交通安全につながるものと多に期待している。会員の皆様とより連携を固め、サポカー普及を始めとする交通安全活動を推進し、事故の無い安全で安心な北海道を目指す」とあいさつした。

坂根会長は「交通事故ゼロが最大の目標。クルマの先進機能をお客様に伝えるための取り組みがもっと必要と感じていた。この協定で講習会などもより多く開催できる」と協定締結の効果を強調。青木会長は「当協会は新車ディーラーのほか、自動車販売店や整備工場など釧路・根室エリアに広く会員が存在し、事故撲滅に向けて各地区で協力したい」と語った。

釧路自動車販売店協会は新車ディーラー18社が加盟。釧路軽自動車協会の会員は31社（ディーラー会員は釧路自動車販売店協会と重複）。道警察釧路方面本部は釧路・帯広地区の警察署10署を統括する。これまで交通安全講習などは警察署とディーラーが個々で協力要請しており、調整作業に手間取ることが多かった。協定締結でそれぞれの窓口が一本化し、高齢者事故対策の円滑化が見込める。まずは秋ごろに釧路市内でサポカーを使った高齢者対象の安全運転講習会を開きたい考え。

課長補佐は「同様の協定は全国でも富山県と岐阜県に例があるだけ。高齢者交通事故防止は喫緊の課題であり、取り組みの輪が広がれば」と話していた。

## 厚岸町でJAFフェスティバルを開催

### JAF北海道本部

日本自動車連盟（JAF）北海道本部（原田彦工門本部長）は、厚岸町で「JAFフェスティバル2022北海道」を開催。2日間でJAF会員232人が参加し、完全費し切りの砂浜で潮干狩りを楽しんだ。写真：厚岸町奔渡の潮干狩り会場は大粒のアサリが取れる。参加者は初日15人、2日目117人。ファミリーやカップルの参加が多く、カゴ一杯に集めたアサリを持ち帰る姿が目立った。また町内の



例年よりも早い梅雨明けで暑い毎日が続いたかと思えば、線状降水帯の発生など、各地で大雨による浸水被害も出ている。新型コロナウイルスの感染状況も全国的に再拡大の様相を見せ始めているものの、感染拡大に配慮しながら経済活動を進める企業や団体が多い。

創業50年を迎えたある企業の代表は、直近2年の状況を踏まえ、BCP（事業継続計画）の見直しに着手した。「想定外のこと」が起きる可能性は今後も考えられるから、その準備に充てる良い機会ととらえているという。想定外のことにも対応できる柔軟性が求められている。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエではJAFがブース出展し、地域の市町村PRなどを行った。厚岸町、釧路町、浜中町などのご当地キャラクターも集まり、撮影会などで盛り上がった。

## 視線

## 釧路公立大学とトヨタモビリティ釧路 共同でカーシェア実証実験

釧路公立大学とトヨタモビリティ釧路（工藤健雄社長）は、共同で「カーシェアリング実証実験」をスタートした。大学構内に用意した車両を学生が利用し、地域におけるカーシェア普及について調査研究を行う。



新たなモビリティサービスに向け、料金を支払うの手続きはスマートフォンで行う。15分間50円で利用できる。若者のクルマ離れが言われるものの、身近に気軽に使えるクルマがあるならば話は別のように、サービス開始と同時に、事前申込みしていた学生がうれしそうに表情でアクアに乗り込み、買い物へ出掛けて行った。同大在学生のうち釧路が地元の学生は1割ほどで、道外から入学し

た人も多い。マイカー所有者は少数派で、カーシェアの人気は上々。同大はこの実証実験を通じ、手軽な移動手段の提供によるキャンパスライフの充実を図ると同時に、加藤一郎教授が「カーシェアリングサポカーが学生の地域に対する認識に及ぼす影響」をテーマに、松野奈都子准教授のゼミでは「釧路地域におけるカーシェアリングの普及と可能性の検討」をそれぞれ研究する。

工藤社長は今回の実証実験について「学生のアイデアも取り入れた取り組みが地元のためにつながることに、学生自身の釧路の魅力への気付きとなり、引き続き市民として地元を盛り上げる存在になってほしい」とし、同大学生課の塚田貴之主任は「クルマがあれば行動範囲は広がり、雄大な自然を満喫したり、おいしいお店を探したりなど毎日がより豊かなになる。地域の魅力を実感してほしい」と話していた。

## 灯

2012年1月。あるレクサス店のショールームで開かれた新型発表会での出来事。トヨタ自動車の関係者から「デザイン」の率直な感想を聞かせて下さいよ」と声をかけられた。目の前にあるのは全面改良した4代目「GS」◆フロントフェイスにレクサス車で初めて「スピンドルグリル」を採用したモデルだった。「個人的にクルマは『目立つてなんぼ』の考えなので良いと思います」と答えたら、「直接質問した人の中で数少ない肯定的な感想をいただきました」と返ってきた◆当時、次世代レクサスを象徴するスピンドルグリルについて、消費者の反応は決して良くな

かった。私が知る限りでは、トヨタ店関係者も「奇抜過ぎる」と販売見通しに不安を示す声は多かった。デザインはクルマ選びで大きな要素だから◆発売からしばらく経った頃、「毎日見ていると慣れてくるね。デザインの力なのか」。取材に訪れたレクサス店やトヨタ店の関係者こんな話をした記憶がある。それから10年が過ぎた◆7月15日にトヨタが16代目の新型「クラウン」を世界初披露した。デザインは大きく変わり、4つのボディタイプが採用されたことなどについて賛否両論がある。変革には付き物だ。早々に結論を求めても意味はなく、しばらく時間が経つと10年前の出来事を思い出した。

### 【安全運転は運転経歴証明書から】

- ◎ 交通事故・違反防止に対する職場の連帯感が生まれます
- ◎ 交通事故処理等に費やす無駄な労力、保険料の減少も期待できます
- ◎ 必須アイテムとして多くの企業が安全運転管理に利用しています
- ◎ 1年以上無事故無違反者にはSDカードが交付されます

SDカードは定型優遇店が全国にあり割引制度等の特典があります  
詳しくはホームページをご覧ください  
(<http://www.jsdc.or.jp>)

申請方法 代表者が委任を受けて一括申請することが出来ます。申請手数料1通670円です。  
詳しくは、下記事務所にお問合せ下さい

**自動車安全運転センター北海道釧路方面事務所**  
〒085-0018 釧路市黒金町10丁目5の1  
北海道警察釧路方面本部1階 TEL0154-25-7171

## JAF入ってますか

JAF会員の路上故障は年中無休24時間体制です。  
▶ご入会は、お近くのJAF自動車販売店へ◀

### ご入会になるとこんな特典があります。

JAFロードサービスを会員の方がご利用になると・・・  
救済時の基本料・作業料（30分以内）・けん引料（15kmまで）は無料です。  
その他、機関誌（JAFMATE）の配布・スポーツライセンス等の業務もおこなっています。

- ・入会金 2,000円
- ・年会費 4,000円は安心料です。

一般社団法人 **日本自動車連盟** 釧路支部  
〒084-0906 釧路市鳥取大通8丁目2番11号 TEL.0154-51-2167